



全難聴便り

発行：事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5
MSビル市ヶ谷台1F

編集：全難聴事務局
電話：03 (3225) 5600
FAX：03 (3354) 0046
URL：<https://www.zennancho.or.jp>
E-Mail：zennancho@zennancho.or.jp

↑ 令和4年度 定期総会の開催 6/18

6月18日(土)、令和4年度通常総会をオンラインで開催しました。概要は以下の通りです。

加盟協会 52 協会 出席:正会員 38 名(代理出席:4 名)欠席議長委任:10 名 合計 48 名、正会員以外の理事・監事・専門部長3名 司会・進行:佐野昇 議長:神矢徹石(北九州市)、副議長:橋本英憲(京都市) 議事録署名人:黒田和子(愛知県)、湯浅はるみ(香川県)

1) 決議事項

第1号議案：令和3年度事業報告案の件 新谷理事長より報告があった。

1. 新型コロナウイルス感染拡大への対応
 2. 対外的課題とその対応 2.1 障害者差別解消法の改正について 2.2 意思疎通支援事業分野の課題 2.3 医療・教育分野での課題 2.4 情報アクセス分野での課題
 3. 1 対内的課題とその対応 ①理事会機能の強化 ②個別課題への理事・常務理事の積極的な関与④事務局機能の見直し
 - 3.2 財政面から見た対内的課題 ①令和3年度事業決算 ②個別事業の独立採算化
- 以上、議案書に即して説明、説明がなされた。

第2号議案：令和3年度決算書案の件 事務局長より決算の概要と決算報告がなされた。また監事より監査報告があった。質疑応答の後賛成多数で承認を受けた。

(2) 報告事項、その他 1.令和4年度事業計画 2.令和4年度予算書
各号各議案の説明と審議の結果原案通り採決された。報告事項では、理事長・事務局長より報告がなされ、承認を得た。初参加の正会員および代表者代理人の方から、一言ずつ挨拶をいただいた。

↑ 日身連評議員会開催

6月8日、日身連の評議員会がオンラインで開催され、新谷理事長が出席しました。概要以下の通りです。

- 1.報告事項 ①日身連蓬議員交代の件 ②令和3年度日身連事業報告
- 2.決議事項 ①令和3年度会計収支決算書について

いずれも異議なく承認されましたが、青森・京都の評議員より相談員の減少が著しく、実態を早急に調査し厚労省に改善を求めるべきであるという意見が出されました。

また、6月20日開催の福岡での福祉大会は対面・オンライン併用で実施予定との報告がありました。

↑ 日本障害フォーラム(JDF)代表者会議の開催

6月20日(月)、日本障害フォーラム(JDF)の代表者会議が10:00-12:30開催され、新谷理事長が出席しました。

会議は、対面・オンラインのハイブリッドで実施され、構成団体のうち、日視連(竹下会長)、ろうあ連盟(石野会長代理久松常務理事)、全難聴、JDF事務局は対面参加、その他はオンライン参加でした。

協議事項は以下の通りで、1号、2号議案の承認のあと、3号議案について時間をかけ議論が行われました。議論のポイントを●で記入します。

第1号議案 2021年度事業報告、決算について

第2号議案 2022年度事業計画、予算について

第3号議案 各課題への対応について

(1) 障害者権利条約に関すること

●ジュネーブに代表団を送るに先立って、時間が許せば地方での事前の意見交換の場を設けたい。

●障害者団体以外(人権団体等)との連携を深めるのが大切。

(2) 旧優生保護法一時金支給法に基づく調査に関すること(衆議院厚労調査室より協力要請)

●衆議院が様々な団体に対してアンケート調査を行う。取りまとめは来年6月予定。

●知的障害の被害者は多い。自治体は詳しい情報を出さず、対応が不十分。

●被害者は2万人以上といわれているのに、一時金認定は994件。

一時金支給の周知が必要。JDFから周知方法の提言をすべき。

(3) 全国知事会との連携について(知事会からの提案)

●全国知事会から添付資料の提案があった。

●自治体戦略2040への対応の意見交換が中心。

(4) ESCAP アジア太平洋障害者の十年最終年とAPDFに関すること

●6/22-23 専門家グループ会合、7/6-7 ステークホルダー協議、

●10/18-20 最終年政府間会合(インドネシア?)

●ESCAP「アジア太平洋障害者の十年最終年」は目立った動きがなかった。

ESCAP だけでの動きでは不十分。

(5) その他

●虐待防止法改正への要望書について、三役預かりとなっているが進展状況は⇒障害者審議会との整合も必要で、要望提出だけではなく中身の議論がもっと必要。

●精神保健福祉法改正の議論はもっと時間をかけてほしい、一括審議には反対したい。

↑ [聴力障害者情報文化センター評議員会の開催](#)

6月23日（木）聴力障害者情報文化センター評議員会がオンラインで開催され、新谷理事長が出席しました。全国団体の会議での情報保障の状況を報告していますが、今回の情文評議員会でも同様の問題が発生しました。

情文事務局から captiOnline での文字通訳を用意する旨連絡があったため、この情報保障は私たちが求める情報保障ではない旨連絡し、要約筆記準備を求めました。

これに対し、情文から時間がなくて準備できない、captiOnline の利用で対応するとの回答ありましたが、再検討を求めた結果全要研の協力で要約筆記が準備されました。評議員会の決議事項は、

1. 令和3年度財務報告の承認
2. 理事改選の承認

の2件で、出席した全評議員の賛成で承認されました。

その後、令和3年度の事業報告と令和4年度の事業計画の報告がありました。この中の「聴覚障害者情報提供施設の運営」について、全難聴より聴覚障害者の全ライフステージを対象とする相談機能の充実を求めて、全難聴の聞こえの健康支援センター構想に敷衍した意見を述べました。

↑ [JICA 委託ネパール難聴者支援事業・遠隔講習無事終了](#)

JICA 委託ネパール難聴者支援事業「カトマンズの病院における難聴患者の意思疎通支援パイロットプロジェクト」で、日本の意思疎通支援の先端技術をネパールの受講生に伝授する遠隔講習を、5月から6月にかけて5回実施しました。大きなトラブルもなく、無事終了しました。この講習では、講義資料の事前配布、事前質問受付、コミュニケーションの交通整理等難聴者等の特性に合わせた新しい形で実施しました。この成果は、今年10月に行われる全難聴福祉大会 in 大分で報告する予定です。では、次号をお楽しみに。

↑ [第66回障害者政策委員会・専門委員会が6/14に開催されました。](#)

第66回障害者政策委員会が6月14日（火）にオンラインにて開催され、専門委員の宮本副理事長が出席しました。議題は、「令和3年度調査研究についての報告」「基本方針改訂について」の2つでした。

「令和3年度調査研究」は、国内の実態、今後の相談体制の整備、事例の収集、共有のあり方の今後の方向性についてのまとめを有識者から報告がありました。

前々回、前回の会議での現場による情報保障の画面が不鮮明なことと要約筆記の文字表示が見つらいことを発言したために、内閣府と映像担当の業者と文字表示担当のM社と改善のための打ち合わせを個別でしていただきました。要約筆記者は全要研関係者を要望したのですが、M社にもきちんと希望通りにしていただけたので、66回委員会の文字表示は読みやすくなっていました。

なお、67回障害者政策委員会は7月4日(月)13:30~17:00、68回障害者政策委員会は7月7日(木)13:00からオンラインで開催されます。傍聴に代わりYouTube配信も行われます。

↑ 理事の動き (6/1~6/30)

- 6月 5日 JICA 委託事業意思疎通支援に関する遠隔講習 (オンライン) (瀬谷)
- 6月 8日 日身連第1回定期協議員会 (オンライン) (新谷)
- 6月12日 全国ろうあ者大会 INひろしま (湯浅)
- 6月12日 JICA 委託事業意思疎通支援に関する遠隔講習 (オンライン) (瀬谷)
- 6月14日 第66回障害者政策委員会 (オンライン) (宮本)
- 6月17日 全国聴覚障害者情報提供施設協議会施設大会 (黒田)
- 6月18日 全難聴通常総会 (オンライン) (出席代表者・理事・監事43名)
- 6月19日 JICA 委託事業意思疎通支援に関する遠隔講習 (オンライン)
(瀬谷、宇田川)
- 6月20日 JDF 代表者会議 (新谷)
- 6月23日 障害者放送協議会総務省との意見交換会 (オンライン) (新谷、小川)
- 6月27日 聴力障害者情報文化センター令和4年度定時評議員会 (オンライン)
(新谷)

↑ 《7月の予定》

- 7月4日 第67回障害者政策委員会 (オンライン)
- 7月7日 第68回障害者政策委員会 (オンライン)
- 7月13日 JDF 幹事会
- 7月21日 シーズ・ニーズマッチング強化事業 第1回交流会企画委員会
- 7月25日 情報コミュニケーション4団体連絡会
- 7月26日 移動等円滑化評価会議・当事者目線にたった評価指標 プレ調査
意見交換会 (オンライン)